

# インターハイ出場決定

# インスピタイムズ

六月十七日(木)～六月二十日(日)に熊本県熊本市の県民総合運動公園陸上競技場で行われた南九州地区予選に本校から出場した谷山愛彩さん(普通科一年)が女子400mで五位に入賞しインターハイ出場を決めました。

谷山さんは中学時代にも県ランキングで二位という素晴らしい成績を残しています。そして高校に入って初めての総体。結果は地区四〇〇m一位、県総体八〇〇m五位、四〇〇m二位という、学年の差を感じさせないものとなりました。谷山さんは取材に対して「南九州大会は不安や緊張もありましたが、クラスメイトや先生方の応援のおかげで前向きに挑むことが出来ました。四〇〇m、八〇〇m、それぞれの競技で得たものを分析、吸収し、

次の大会に向けて練習にはげんでいきたいです。」と語りました。前を向き続け、更なる高みを目指す谷山愛彩さんを生徒一丸となって応援しましょう。

発行元	尚志館高校
発行日	6月30日
文責	鬼ヶ原・畠山 橋口・安竹 北野・西中間

## てげてげな尚志館

### 尚志館高校生がラジオ出演

五月二十三日(日)と三十日(日)、MBC南日本放送でてげてげハイスクールと言うラジオ番組にて尚志館高校が紹介されました。このてげてげハイスクールとはMCである岩崎さんと、鹿児島県内の高校生やその教員によるトークで人気のあるラジオ番組です。五月二十三日(日)に本校看護科と医療福祉科

を代表して竹下摩優さん(看護科二年)、西之段美瑠さん(看護科二年)、及び植松花咲さん(医療福祉科三年)、三浦友花さん(医療福祉科三年)の四人が、そして五月三十日(日)には生徒会を代表して生徒会長の柿元仁成くん(普通科三年)と副会長の有島未結さん(普通科三年)、宮脇義稀くん(商業科二年)がそれぞれ出演しました。「挨拶がとても良い!」これは尚志館高校の自慢として語ってくれたものの一部です。そのほかにも「大隅半島、宮崎南部といういろんな地域から生徒が集まるので、方言が面白い!」といった、県境近くだからこそその話題なども上がりました。



また、後半のテーマは『私たちの熱中していること』と『僕たちの、好きな時間』。生徒のそれぞれの夢の話は聞いている人たちもきつとほっこりしたことでしょう。

この創立五十周年というタイミングで放送に参加したことで、改めて自分たちの学校について考える良い機会になったのではないのでしょうか。さらにこの自慢が増えるように、更なる挑戦をしていきましょう。

てげてげハイスクールのウェブサイトにラジオの様子や内容について載っているのは是非確認してみてください。

○副会長 普通科三年 有島 未結

今回生徒会としてラジオ収録に参加することができ、とても有意義な時間が過ごせることができたと思います。普段は外部の方と尚志館について語り合う機会がないので、実際に



どのように鹿児島島のヒーローである「薩摩剣士単人」を生み出したのか、といったことが紹介されました。さらに昨今の社会情勢を振り返った上で、「これからの時代、安定した職業はない」とはっきり語られました。これからの自分の人生でどのような進路を選択するのか。熱中できることを持ち、それを仕事にして日々活躍される外山先生の姿は、尚志館生にとって自分の将来を考える良いきっかけになったのではないのでしょうか。

話してみてもわかった尚志館の魅力や特徴が、たくさんありました。収録前はいつもと違う空気感にとっても緊張しましたが、岩崎さんの圧倒的トーク力のおかげもあり、楽しくいきいきとマイクに向かって話すことができました。高校生活でのよい思い出の一つになったと思います。

○医療福祉科三年 植松 花咲

収録当日はとても緊張しましたが楽しく尚志館の魅力が皆で話すことが出来ました。尚志館高校の良いところとして、行事ごとの盛り上がりや挨拶など沢山ありますが、改めてそのことを振り返ることができた一日となりました。今年も残り半年となりましたが、尚志館高校の良いところを伸ばせるように協力して頑張りましょう。

## ぼっけもん語る!

### 薩摩剣士単人生みの親来校

進路講演会が六月十五日の五限目、「薩摩剣士単人」を生み出した外山雄大先生を招いて行われました。

講演の中では、子供時代から仮面ライダーやスーパー戦隊が大好きだった外山先生が、



→講演には薩摩剣士単人も駆けつけてくれました。



# ソフト テニス 祝 県ベスト8!

## 地区大会連覇経て健闘

第四十六回鹿児島県高等学校ソフトテニス競技大会、団体ベスト八位。これは先月行われた県総体で尚志館高校が残した結果です。メンバーは、部長である末満 太陽くん（商業科三年）、安楽 維ととした、竹中 陸人くん（普通科三年）、安楽 維吹くん（普通科三年）安楽 生織くん（普通科二年）、湯口 敬悟くん（普通科二年）、石原 優真

くん（商業科二年B）の六名。昨年度の秋季地区総体に続いて令和三年度春季地区総体も制した彼らは、県総体でもその実力を遺憾なく発揮してくれました。

部長の末満くんが普段から心がけているのは「試合は練習のように、練習は試合のように」。この素晴らしい成績は日々練習に練習を重ね、強くなるために考え抜き、何



も諦めることなく努力した結果だと言えるでしょう。大会メンバーだけでなく、彼らを支え続けた部員のみならず、顧問の先生方、そしてそんな素晴らしい結果を残してくれた男子ソフトテニス部に大きな拍手を送りたいと思います。ソフトテニス部部長の末満くんにお話をうかがいました。

▼今回の大会はどうでしたか？  
 ▼たかさんの人の協力のもと最後の大会を無事終えることができ、団体ベスト八位という結果を残すことができました。今まで指導して下さった先生方、一緒に頑張ってきた仲間たち、ずっと応援してくださった保護者の方々には本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。

↑地区総体に優勝した六人



↑男子ソフトテニス部一同

▼三年間で一番大変だったことは何ですか？  
 ▼日頃の練習やトレーニングが大変でした。でもその練習があったからこそ、大会二連覇という成績を残せたのかなと思います。

▼一番の思い出は何ですか？  
 ▼ずっと目標にしていた、地区大会の団体二連覇を達成することができ、その喜びをみんなで見合えたことです。

▼顧問の先生にひとこと  
 ▼今まで指導していただき、ありがとうございます。辛い練習や苦しい練習もたくさんあったけど、そこで成長できたし、やっぱり部活してる時が一番楽しかったです。これからは自分の夢に向かって進んでいきたいと思えます。先生も体に気をつけてください。

### 教育実習生より

▼後輩たちにひとこと  
 ▼二年生は一年間あっという間に過ぎるから一日一日を大切に毎日頑張ってください。一年生はすぐに後輩が入ってくるので、一年間頑張ってきたことを後輩たちにも伝えていってほしいです。みんなと過ごした時間はとても楽しかったです。今まで本当にありがとうございました。



●野元みいな先生（宮崎公立大学）  
 高校時代の思い出  
 仲良い友達が生日の時には、事前にSUMOMOさんにケーキを注文して、当日お祝いをしていました。

学校でケーキを食べられることは特別感があった楽しかったです。皆さんにもお勧めします！  
 苦しい思い出は、職員室で大泣きしたことです。メンタルが弱かったこともあり、色々な場面を泣いていたことを覚えています。今、振り返ってみると先生方に迷惑をかけてしまったなと思います。

▼生徒へひとこと  
 三週間でしたが、皆さんの先生になることができ嬉しかったです。先輩としても、先生としても、皆さんのこれからの応援しています！



●柏原優海先生（東洋大学）  
 高校時代の思い出

甘い思い出も苦しい思い出も野球です！野球部の先生に褒められると気分が高揚しました！しかし、その後は失敗することもしばしばありました。当時お世話になった先生のごことは今でも少し怖いです（笑）

▼生徒へひとこと  
 高校生活はほんの一瞬。何事も本気で全力で楽しめ！

○松永先生からお二人へのエール  
 まずは、教育実習お疲れ様でした。今回の教育実習中に二人が成長している姿を間近で感じ、嬉しさもある一方で、「頑張らないといけない」という気持ちにさせてもらいました。高校在学時、野元先生はとも心が通っていて特に大学受験では、絶対に譲れないという気持ちを強く持つていました。志望校合格に向けて、別課題に取り組み個別指導を受けて勉強に励んでいました。有言実行派でしたね。頑固といえば頑固でした（笑）。  
 一方、柏原先生は、やんちゃな生徒でした。新校舎にもかかわらず、作業用具入れをかくれんぼをして壊したり、トイレにテニスボールを詰まらせたりと、とても目立ちたがりでした（笑）。しかし、大学で大きく成長し、立派になっていました。  
 このような二人でしたが、教員になるためにしっかりと採用試験に向けて勉強し、四月からはこの学校で教壇に立つてもらっています。たった三週間という短い時間でしたが、本当にお疲れ様でした。